

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学八王子医療センター 消化器外科・移植外科 では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の許可のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように個人のプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究にカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。不参加のお申し出があった場合も、患者さんに診療上の不利益が生じることはありません。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究名称]

肝細胞癌に対する集学的治療の後方視的検討

[研究の背景]

本邦では欧米に比べて肝細胞癌の患者さんが多いですが、その治療については近年目まぐるしい変化が起きている。これまでの肝切除(手術)、ラジオ波焼灼術(RFA)、経カテーテル肝動脈化学塞栓療法(TACE)に加えて、いくつかの新しい薬剤が使用できるようになりました。一方でこれらの治療手段について適応や順番・組み合わせなど不明な事も多く、更なる研究が必要です。本研究ではこの疑問に対し、当科で過去に肝細胞癌について行った治療について検討します。

[研究の目的]

診療録を用いて、疾患の頻度や分布、臨床的な特性及び疾患の診断法・治療・その他のケアの効果・安全性等に関して適切な解析を行うことにより、新たな診断法・治療法・予防法等を検討する資料とすること、他の方法で収集が困難な情報も含めて解析することで、疾病の予後や生活の質の改善、または健康の維持・増進に資する知見を得ることを目的としています。

[研究の方法]

対象となる方

肝細胞癌の患者さんで、2006年1月1日以降2021年5月30日までに当科で治療を受けられた方

研究期間

研究許可日 ~ 2025年3月31日

利用するカルテ情報

過去の医療情報(紙面カルテ及び電子カルテ)を基に、術前治療状況・腫瘍の進展範囲・進展形式・術式・術後治療・予後等を抽出して利用します。

これらのカルテ情報を用いて解析を行います。

情報の管理

情報は匿名化を行って、直ちに個人が判別できる情報は含まれないよう加工されます。匿名化された情報から研究対象者を識別できる対応表は、研究責任者の指示に基づき施錠された場所またはパスワードで保護された電子情報として保管されます。保管期限は研究終了または論文公表から5年間です。

診療科(部署)名	消化器外科・移植外科
情報の管理者名 (研究責任者または研究分担者)	富田 晃一

[研究組織]

	診療科(部署)	職名	氏名	研究における役割
研究責任者	消化器外科・移植外科	助教	富田 晃一	データ収集・解析
研究分担者	同上	主任教授	河地 茂行	研究の統括・監督
	同上	准教授	千葉 斉一	データ収集
	同上	助教	佐野 達	データ収集

[問い合わせ先]

相談窓口	担当者名	富田 晃一
	住所	東京都八王子市館町 1163
	施設名	東京医科大学八王子医療センター
	診療科(部署)	消化器外科・移植外科
	電話番号	042-665-5611